

平和の泉

〔地図番号15〕

建立年月日

1960（昭和35）年9月1日

建立者

広島青年会議所

設計者



形状

高さ1m、幅4mの^{おおや}大谷石の壁、右側のボタン（2010（平成22）年の改修時に新設）を押すとその左端にある陶製のライオンの口から水がしたたり落ちる。

建立の目的

原爆犠牲者が、死に臨みわずかの“水”でも求めた姿を想起するとともに、訪れた人の渇きをいやし、平和の尊さを訴えるため。

文字版

「平和の泉 昭和35年9月 広島青年会議所創立10周年記念施設」

特記事項

1 流れ続ける水

ライオンの口から流れる水は、苦しみの中に与えられてはならないといわれた“水”を求めて、もだえた人々の思いをいつまでも伝え続けています。

2 訪れる人への配慮

壁面にライオンの首に模した陶器の水の出口を取り付けたのは、旅行中の子どもたちの水筒の便を図ったものです。また、床に高低を作ったのも、身長にかかわらず立飲みできるように考えてのことです。

3 建立の経緯

広島青年会議所が創立10周年記念事業の一環として建設し、広島市に寄贈しました。